

# ☆ 地域協議会だより ☆

第2回地域協議会は、7月18日(水)午後2時から二ツ井町庁舎大会議室で開かれました。案件は、「能代市二ツ井町サイクルステーション等の要望調査について」、「運営調整会議委員の選任について」、「自主審議等の進め方について」の3件でした。概要については、次のとおりです。

## 能代市二ツ井町サイクルステーション等の 要望調査について

旧二ツ井町時代の平成10年度から、自転車(共用自転車)事業とし



て町内各所に整備されたサイクルステーション及び駐輪場は、26年度の事業廃止以降、特に活用されないまま現在に至っており、老朽化が進んでいます。  
これら施設を所管する観光振興課から、次のとおり説明がありました。

サイクルステーションは、屋根の腐食や柱の損傷等で使用に耐えないような箇所もあることから、市としては、来年度以降、基本的には全て撤去処分する方向で考えているが、町内会で使いたいとの声もあることから、撤去を基本としながらも、町内会等に対して譲渡の要望調査を行うこととした。

また、二ツ井駅前駐輪場については、まだ建物もしっかりしているものの、市として当該建物を活用する計画もないことから、サイクルステーションとともに譲渡の要望調査を実施し、町内会等への貸付

【地域協議会委員】  
大高洋子 菊池敏幸  
工藤正志 斉藤陽悦  
佐藤力 籾内久  
高橋伸子 田中真理子  
成田弘子 野呂昇  
畠山一昭 畠山博嗣  
畠山美紀子 松嶋俊一  
山谷清貴(五十音順)

発行：二ツ井地域局  
総務企画課  
〒018-3192  
能代市二ツ井町字  
上台1-1  
電話 0185-73-2112



旧二ツ井町時代に町内各所に整備され、現在は使用されていないサイクルステーション

も含めながら、解体の方向性を検討していくこととした。  
なお、地区の集会所敷地等に共用自転車の簡易駐輪場として看板設置等を行った「青空ステーション」については、譲渡せず看板等を撤去する方針。  
8月末までに町内会への要望調査を実施し、9月のとりまとめ結果を踏まえて処分、譲渡について検討していく。

撤去・譲渡は31年4月以降を予定している。  
※以上の説明に対する主な質問・意見と回答は次のとおり

H30.9.25発行

### 委員の皆さんからの質問・意見と回答の主な内容

#### ■サイクルステーション

1	天神荘	6	桜づつみ公園
2	桜新町	7	福祉会館駐車場
3	旧二ツ井町役場跡地	8	特養よねしろ
4	仁鮎中台健康広場	9	ふっちゃん
5	勤労者体育センター	10	荷上場体育館

#### ■自転車駐輪場

1	二ツ井駅前自転車駐輪場
※	道の駅自転車駐輪場(平成30年度中に解体予定)

- (質問) 有償、無償も含め、譲渡の条件は何か。
- (回答) サイクルステーションは、現状のまま無償譲渡としたい。
- (質疑) 譲渡を受けた後の用途制限はあるのか。例えば、周りを困って倉庫的に使っても良いか。
- (回答) どのような使い方をしていたとしても構わない。
- (質疑) 譲渡してもらった後、将来的に解体・処分する際の費用負担はどうなるか。
- (回答) 譲渡された側で費用負担のうえ処分していただきたい。

※裏面につづく↓

※ ↓表面からのしづき

委員の皆さんからの質問・意見と回答の主な内容

(質疑)

「老朽化で使用に耐えない」と説明するものまで譲渡対象にするのは矛盾しないか。

(回答)

天神荘跡地と荷上場体育館にあるサイクルステーションが特に痛みが激しく、他はそれほどではない。市としては解体を基本とするが、それでも使用したいという地元要望があるならばということ。駅前駐輪場は、観光のために活用できないか。

(質問)

また、サイクルステーションが解体された後の敷地はどうなるのか。

(回答)

駅前駐輪場は、自転車の保管倉庫として作られており、今のままでは、他の用途で使うには非常に使いにくい状況にある。建物の活用をいろいろ検討したが、投資効果・費用対効果の面から、無理と判断した。

(質問)

なお、サイクルステーションを解体後の敷地は、更地にする予定。

(回答)

自治会・町内会だけでなく、住民の声を聞いてはどうか。公益の観点から、各町内会長さんに地区の意向等を伺いたいと考えている。

第7次秋田県高等学校総合整備計画に基づく今後の二ツ井高校について

この日の地域協議会では、案件審議に入る前に、二ツ井高校の藤田博樹教頭から、第7次秋田県高等学校総合整備計画に基づく今後の二ツ井高校についての説明がありました。

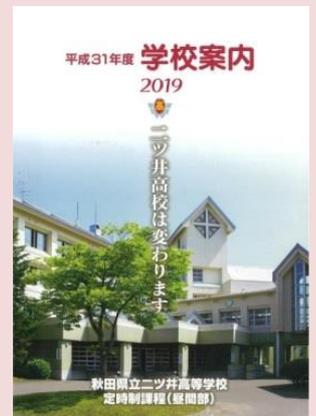
既に新聞報道で内容は明らかにされているものの、地域の理解と協力が不可欠として、秋田県教育庁及び二ツ井高校から地域協議会の場での説明の申し出があり、お受けしたものです。

同整備計画では、平成33年4月に二ツ井高校と能代工業高校定時制課程を再編し、「能代高等学校定時制課程」を設置。同定時制課程は昼間部であり、校舎は現二ツ井高校校舎を使用。

移行スケジュールとして、31年4月に二ツ井高校定時制課程(昼間部)を設置。入学生は二ツ井高校定時制課程への入学となる。(全日制の生徒募集は行わず、現在校生が卒業する32年度末で全日制は終了し、33昼間部の定時制高校に移行。)

また、31年4月に二ツ井高等学校へ入学する生徒が新たな学校の1期生となるため、校舎の呼称について、同窓会や後援会関係者からの要望を基に、両校の生徒・職員の意見も踏まえながら、「秋田県立能代高等学校 二ツ井キャンパス」に決定したことなどの説明がありました。

最後に、藤田教頭から、今後も地元の高校並びに生徒に対し、変わらぬご支援、ご協力をお願いしたいとあいさつがありました。



運営調整会議委員の選任及び自主審議等の進め方について

地域協議会は、市長その他の市の機関から諮問された事項等を審議し、市長等に意見を述べることでできるほか、自主的な判断で、地域自治区の区域における課題等について審議し、市長等に意見を述べることもできます。

こうしたことを踏まえ、これまで地域協議会では、市からの諮問等を持つだけでなく、地域の課題等の解決や、これからのまちづくりの観点から

自主研修・自主審議を重ね、市長に対して、意見書や要望書を提出してきました。

今年4月27日、新たな委員を含む第7期目となる地域協議会が発足。第1回地域協議会において、引き続き自主研修・自主審議に取り組むことを確認しました。

今回、第2回地域協議会では、正副会長を含む委員6人と事務局職員4人の運営調整会議委員を決定するとともに、次回以降、二ツ井地域の現状と課題を探り、自主審議のテーマを絞り込んでいくことを確認しました。



8月29日、今期委員による第1回目の自主研修が開催され、二ツ井地域の現状と施策の分析評価を実施。今後さらに、地域の問題・課題等を探り、検討を進めていくこととしています。

第7期地域協議会・自主研修をスタート

《地域の課題解決に向けて》